

令和3年度 第2回 甲斐市水道審議会 会議録

- 1 開会日時 令和3年9月28日（火）午前10時
- 2 開催場所 甲斐市役所本館3階 大会議室
- 3 出席者 (委員) 9人
 - ・田辺泰明 ・塩沢正行 ・功刀千斗夫 ・齋藤一三
 - ・田中陽子 ・桂嶋恵美 ・小川已佐子 ・花形保彦
 - ・阿部智子
- 4 事務局
 - ・小林信生 公営企業部長
 - ・望月新路 上下水道業務課長 ・小宮山尚 上下水道工務課長
 - ・小松利也 上水道総務係長 ・深澤勇也 上水道施設係長
 - ・日本水工設計株式会社（木村、本田、朝倉）
- 5 会議次第
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 審議
 - (1) 事業計画の進捗確認について
 - (2) その他
 - 4 閉会

1 開会

2 会長あいさつ

【司会】会長からあいさつをいただきます。

【会長】おはようございます。ご出席いただきましてありがとうございます。本日は水道審議会ということで皆様方からご意見をいただきまして、円滑な事業運営ができればと思っておりますのでよろしくお願いを申し上げまして私のあいさつにかえさせていただきます。

【司会】ありがとうございました。そして本日は当見直し業務に対しご協力をいただいているコンサルタントであります日本水工設計株式会社のご担当の方々にもおいでいただきました。それでは自己紹介をお願いします。

－ 日本水工設計株式会社担当自己紹介 －

3 審議

【司会】それでは早速田辺会長を議長とし第2回審議会として進めて参ります。では会長、進行をよろしくお願いいたします。

審議1「事業計画の進捗確認について」

【議長】それではこれより第2回審議会を進めて参ります。本日は内容審議ということですので。あらかじめ配布された資料も参考にしながら自由に意見交換し有意義な会議としたいので皆さんよろしくお願いたします。では事業計画の進捗状況について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】ただいま会長からもお話いただきましたように、今回もあらかじめ資料の事前配布をさせていただきました。50ページほどのカラー刷りの協議資料とあわせてその概要版5ページのものになります。本日はこの資料に基づき説明し、終わりましたら審議という順で進めて参ります。また本日お配りした第2回会議資料の3ページをご覧ください。まずはおさらいから始めたいと思います。前回8月26日に市長から2つの点について諮問を受けました。①第2次水道ビジョンの中間見直しについて、②経営戦略及びアセットマネジメントの中間見直しについてです。ビジョンは平成27年度に策定され、経営戦略及びアセットマネジメント計画は平成28年度に策定されました。どちらも向こう10年を見据えた内容として策定したのですが、中間年となる今これが時代に沿っているかどうかを改めて検証していき必要があれば軌道修正していく。この審議会ではこの点についてご意見をいただいて参ります。これまで市が取り組んできた主な課題としては、①人口減少等に伴う水需要減少への対応、②老朽化する水道施設の更新に必要な経費確保、③施設の耐震化や危機管理への対応などです。これらを踏まえて本日もう少し掘り下げて考えていきたいと思っております。ではここからの説明を日本水工設計の本田さんをお願いいたします。

－ 協議資料により内容説明 －

【事務局】50ページ近くにわたり資料がありました。事前配布をさせていただきましたけれども膨大な量ということで、事務局で概要版を付して事前にお配りしてあります。この概要版もあわせて検討材料にさせていただければと思います。

【議長】一通りの説明が終わりました。ここから審議に入りたいと思います。何かございますか。

【議長】耐震性という地震などで水道が止まってしまうということがありますが、協議資料 13 ページの耐震化率のことをもう一度詳しくお願いします。

【事務局】専門的な内容も一部ありますが、13 ページの表 1-7 にレベル 1 地震動、レベル 2 地震動とありますが、甲斐市の場合、全ての配水池でレベル 2 地震動に対応することができる状況になっております。表 1-7 のレベル 1 地震動とレベル 2 地震動の主な評価内容が逆になってしまっており申し訳ございませんが、レベル 2 地震動は当該施設の設置地点において発生すると想定される地震動のうち、最大規模を有するレベルの地震動に対応できる状況になっておりまして、関東大震災や中越沖地震のような大規模な地震に対しても対応できる状況にあるとお考えください。表が間違っており申し訳ございませんでした。

【議長】そのほか何かございますか。

【委員】26 ページの広域連携の関係ですが、先日、山日新聞に取り上げられた広域推進プランの関係で、県では来年 3 月中に策定するとなっているようですが、甲斐市の水道ビジョンが令和 7 年までとなっていますが甲斐市のプランの変更があり得るのか、それともそれ以降検討していくのかという点を教えてください。

【事務局】甲斐市の水道ビジョンを策定した当時から国は広域化を推進する方針でした。しかし山梨県においては水道事業の実施者ではないためあまり本気度が感じられませんでした。他方関東一円では広域化が進んでおり、近くで言えば秩父地方は一本の水道事業として広域化されています。甲斐市の上水道事業は黒字経営で安定しており、広域化は必要でない形であります。今回は広域化については保留にし、甲斐市の水道をいかにして未来につなげるかを焦点に考えていきたいと思っております。

【委員】ありがとうございます。現状健全な運営がされているということですが、将来的にどうなるかわからないかと思っております。問題は簡易水道の関係だと思っておりますが、かなり漏水している箇所もあるようですが、年間の改修計画はありますでしょうか。

【事務局】基本的には予算の関係があり、一般会計からの繰入金を多くいただいており、水道事務所独自で進めていける財源がないので、財政課との協議となります。特に施設については止まってしまうと水を供給できなくなりますので、管路の改修よりは施設の改修に重点を置いている現状であります。それについては保守点検をしておりますので状態の悪いところを優先的に計画的にやっているのが簡易水道の現状であります。特に漏水が多いのは、管路が山の中や急傾斜地に入っている場合があり、中々漏水箇所を見つけることができないのが現状です。施設のポンプの稼働率が多くなったところを職員が調べたりしておりますが、漏水の発見が難しい状況です。工事については計画的にやるようにしています。

【議長】そのほか何かございますか。

【委員】3 ページの敷島地区についてですが、昭和 42 年から甲府市水道事業の給水区域となっており、合併の時検討したが、甲府市から給水を継続することとしたとあります。甲府市の水道料金は高いと聞きますが、これから甲斐市の給水にするという検討の余地はありますでしょうか。

【事務局】甲斐市からの給水にするとすると、敷島地区の水道管などの施設が約 40 億円になり、甲府市から買わなければならない。平瀬浄水場で作った水をもらえないため新しい配水池を 4・5 か所作らなければならない、1 施設作るのに約 10 億円かかり、合計 100 億円ほどかかってしまう。この経費は皆さんからの水道料金にかけなければならない、敷島地区の料金の数倍になってしまい、竜王・双葉地区においてはそれ以上に値上がりしてしまう状況になり、誰も得をしないことになる。そのため現在の状況になっております。竜王・双葉については将来的に甲府市と同じくらいの料金にしないと経営が厳しくなる状況ですので、払うところは違っても市民として同じくらいの負担になり平等になってくるとの判断になっております。また、将来的には広域化など検討されることも加味して敷島地区の水道については甲府市にお願いするという結論になっております。

【議長】そのほか何かございますか。

【委員】45 ページの上水道事業の職員数の技術職員が削減されているということで、全体を見通してみても耐震化や更新工事が増えていく中で、今後改善されていく予定でしょうか。

【事務局】職員の異動については人事課で行っているのが難しいところですが、水道事務所として雇用していないので、そういう形になってしまいます。市全体として技術職を必要とするところが他にもあり、ここ数年積極的に採用しておりますので、それを踏まえながら部としても技術職員を配属してもらえようように要望していきます。

【事務局】技術職は合併してから 10 年間採用してなかったのが、30 代・40 代の技術職が少なく不足していることは確かですが、水道事業については配水池の管理など以前は職員が行っていましたが、最近では業務委託をしており、専門の委託業者社員が 2 名常駐しております。機械的なものについては専門業者に委託していますが、管渠の更新については市職員がやらなければならないので、公営企業部に今年度からなりましたので公営企業部付けの技術職を配属してもらえようように、また公営企業会計に精通した職員も配属してもらえようように人事課に働きかけています。

【議長】そのほか何かございますか。

【議長】無いようですので、次に移らせていただきます。

審議 2 「その他」

【議長】その他として事務局から何かあるようですのでお願いします。

【事務局】本日お配りした会議資料の 5 ページにあります開催日程ですが、次回は 10 月 19 日に続きの審議を行っていただき、答申（案）まで考えていただきたいと思います。今回同様、資料を事前郵送させていただき予定しておりますので、ご一読いただければと思います。

【議長】ありがとうございました。事務局から説明が終わりましたが、何かございますか。

【議長】無いようですので、本日の審議は終了させていただきたいと思います。委員の皆様にはご協力ありがとうございました。

【事務局】田辺会長ありがとうございました。そのほか委員の皆様から何かございますか。よろしければ本日の日程はこれにて終了となります。長時間の説明になりました大変だったと思いますがご協力あり

ありがとうございました。次回 10 月 19 日にお集まりいただきたいと思います。これをもって終了とさせていただきます。お疲れ様でした。ありがとうございました。

会議開催における感染対策について

今会議では、前回会議と同様感染対策を徹底しました。広めの会議室を用意し、1 会議テーブルに委員 1 人配置としたことで十分な間隔を保ちました。さらに、マイクを使用することで大きな声を不要とし、消毒も常に行いました。今後も万全な対策をとりながら開催してまいります。

11 : 20 終了